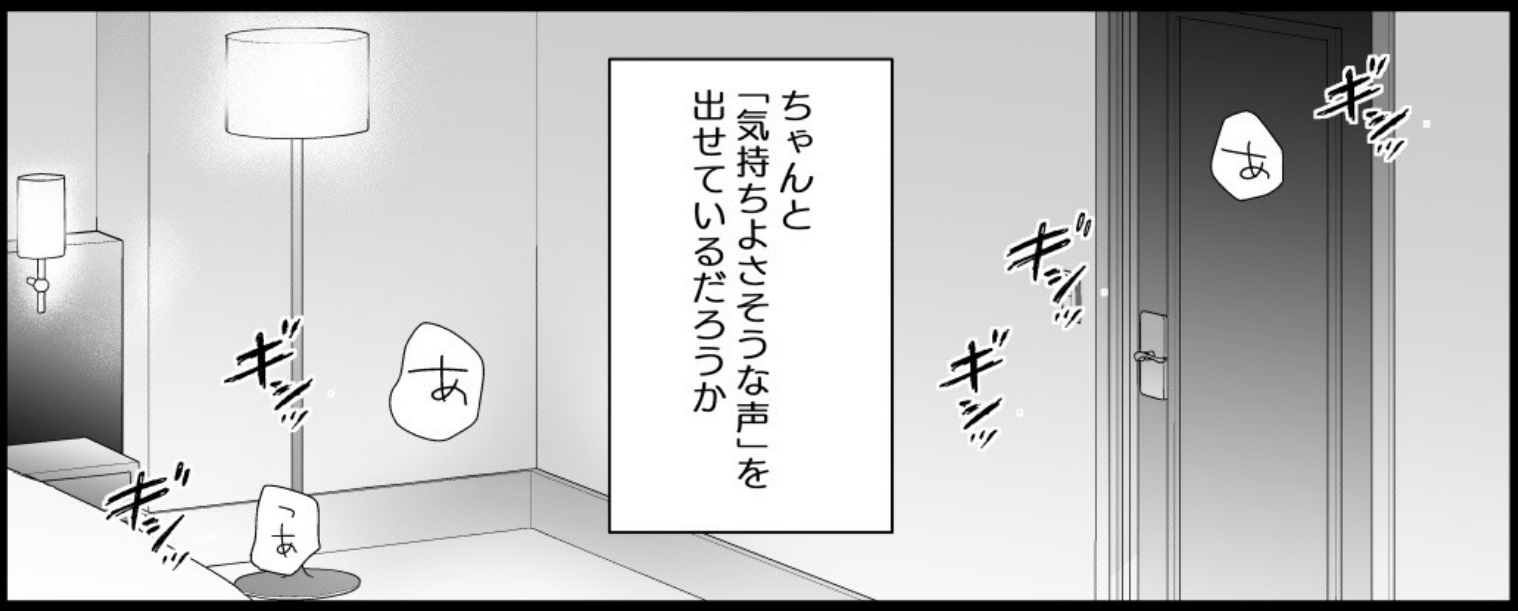

無自覚Mが
夢魔に
開発調教されて
カラダもココロも
喰い尽くされるまで





この声が演技であることが
ばれていないだろうか

ばれてしまったら
この人を
傷つけてしまうだろうか

余計なことを
考えてしまって

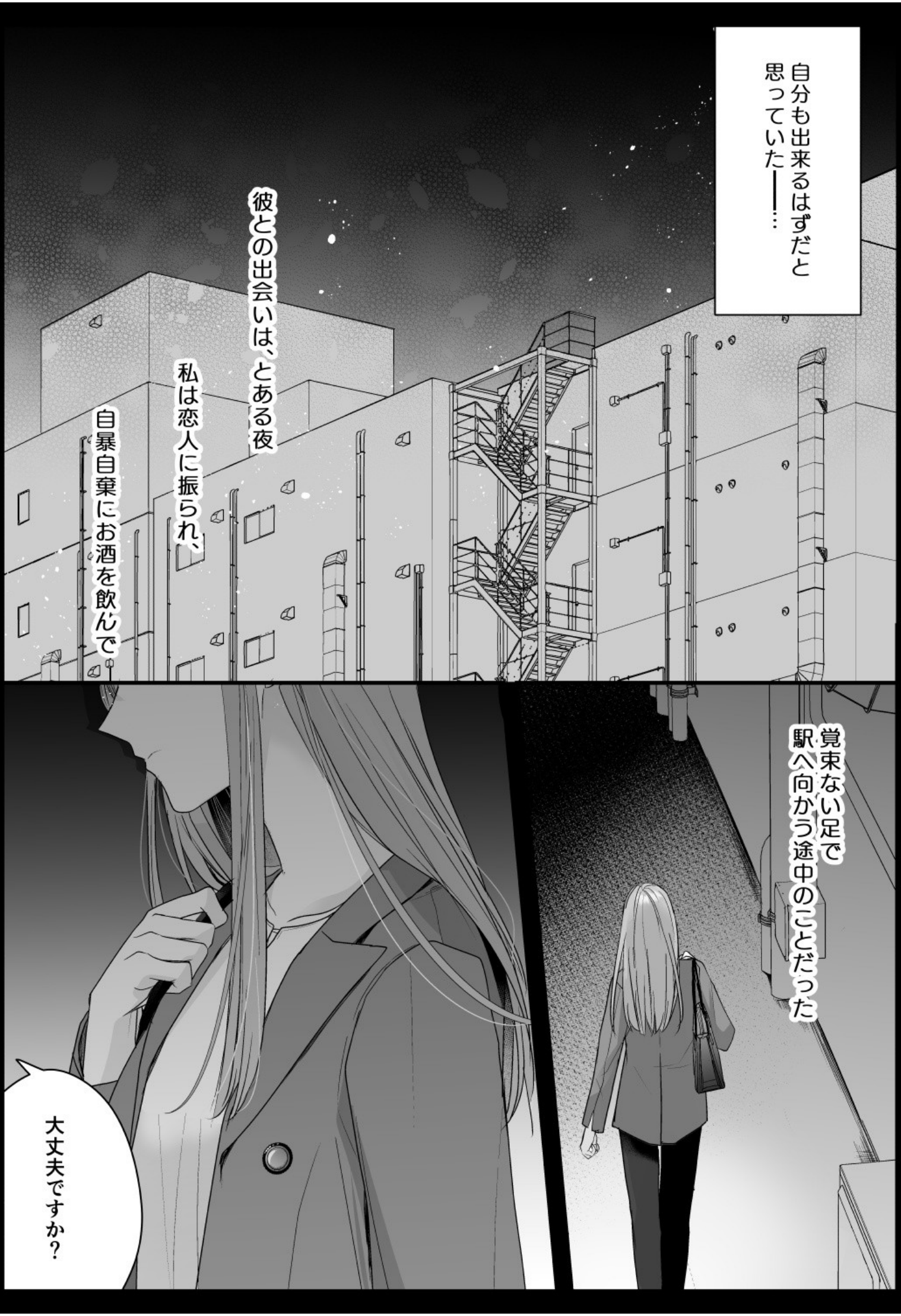
身体が
こわばる

だから私は
セックスが
好きじゃない

それでも
いつかは

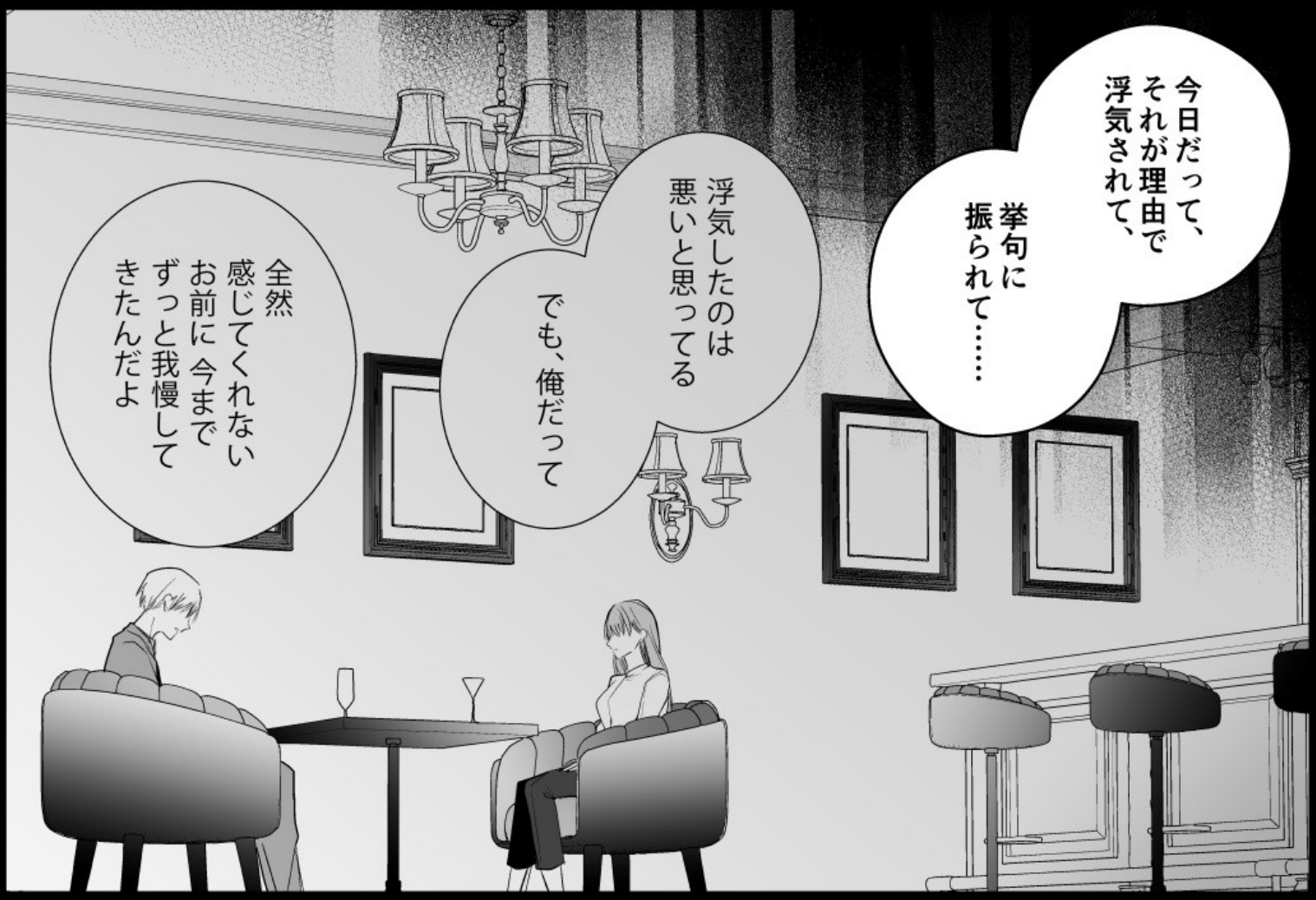
皆が
当たり前のように
しているような

お互いに
満たされるような
『愛し合う行為』を


自分も出来るはずだと
思っていた――…
彼との出会いは、とある夜
私は恋人に振られ、
自暴自棄にお酒を飲んで
覚束ない足で
駅へ向かう途中のことだった
大丈夫ですか？


大分
酔ってる
みたいですけど
ここ、
夜になると
人通りも無いし
女性一人なら
一本向こうの通りを
歩いた方が良いですよ


具合が悪いなら
休める場所に
連れていって
あげましょうか？
なーんて
ナンパ、なら
他を
あたった方が
良いと思います
私といても
『そういうこと』は
できないですよ
酔いのせいだろうか
どうしてか
会ったばかりの他人なのに
話さなくていいことを
話してしまう
セックス、
嫌いなんです
私……
不感症だから


今日だって、
それが理由で
浮気されて、
挙句に
振られて……
浮気したのは
悪いと思ってる
でも、俺だって
全然
感じてくれない
お前に 今まで
ずっと我慢して
きたんだよ

もう、
別れよう


感じている演技も
下手で
結局 いつも
こうなってしまう
私は相手を
失望させる
ばかりで
いつも
上手くいかない
不感症の
せいで――…
不感症？


だってあんた、
いい匂いが
してるもん
淫らで
いやらしい、
美味しそうな
匂い
そんなこと
ないと
思いますけどね
思わず声を
かけちゃう
くらいに


頭がぼうっとして
抵抗出来ない……
ゆ…め……？
今夜 慰めに
行って
あげますよ
あんたの
夢の中にね
そう
俺、
夢魔なんです
『食事』のために
人間の夢の中に
現れる悪魔
――それが夢魔
淫魔とも呼ばれる
彼らにとっては
人間との性行為が
『食事』となる


つまりは
架空の存在だ
そんなものが
現実にいるなんて、
信じられるわけがない――…
こんばんは
また会ったね


何も見えない……
目隠し？
手も拘束されてる……！
っ
これ、外して
外しませんよ
言ったでしょう？
あんたが不感症かどうか確かめてあげますって
まずはクリトリスから触りますね
ビク…
ビク…
撫でたりつついたりこねたりして
たくさん可愛がってあげます
すり…
ビク…


あんたは
真っ暗な視界で
抵抗を
封じられたまま
俺に
好き勝手
犯されるんですよ
この夢が
覚めるまでね
……！
私じゃない誰かによって
私の身体の自由を奪われる
トンッ
トンッ
トンッ
は……ッ
は……ッ
好き勝手に
支配…される……
くちゃ
くちゃ
あっ
くちゃ
くちゃ
っ…
あっ
あ


あ♡
くちゅっ♡
くちゅっ♡
あ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
くちゅっ♡
っ…♡
くちゅっ♡
音で
分かり
ますよね
もう
ぐちょぐちょに
なってます
あっ
……っ！
『不感症』の
はずなのにね？
ピクッ
ピクッ
ピクッ
とろ…
あ……
やめ…ないで……
は…
は…
は…
クリトリス
だけじゃ
物足り
ないでしょう
くぱっ
中も
気持ちよく
してあげますね
あっ♡
ぬぷ…
ぬぷぷ…っ♡
あぁあ♡

あ♡あ♡
や♡っ
あ♡
気持ちよくて
いやらしい声が
出ちゃいますか？
ヂュプ ヂュプ ヂュプ ヂュプ
クリトリスも
表と裏から
いじって
あげますね
にゅぽっ
にゅぽっ
にゅぽっ
ぬちっ
ぬちっぬちっ
あ♡
あ♡あ♡
くちゅっ
くちゅっ
あ♡
くちゅっ
あ♡
真っ暗な視界の中で
はしたない水音と自分の嬌声が
他人事のように聞こえる
視界を奪われた分
敏感になった感覚と
抵抗出来ないまま
好き勝手に
身体をいじられてる
恥ずかしさが
ぐちゃぐちゃに
交じり合って
わからなくなる
う♡う
う♡う♡あ♡
グニグニグニ
ぬぽっ
ぬぽっ
ぬぽっ


どうして私は
こんなに感じてるの？
ゾクッ
ゾクッ
ゾクッ
ビクンッ
上手に
イけました
いい子だね
は——…
は——…
は——…
は——…
ビクッ
ビクッ
ビクッ


は…
私、こんなに簡単に
イかされて……？
もう一回
イかせますね
は…
は…
は…


イったばかりなのに
うぁあ♡
にゅぼっ
にゅぼっ
にゅぼっ
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ


またイく……
あぅ♡
ビクッ
ビクッ
そうそう
その調子


こうやって
腹の上から
子宮を
刺激されるのは
どうですか？
は…
は…
は…
ぬぽっ
ぬぽっ
ぬぽっ
内側と
外側から
気持ちいい
ところを
触られてる
ぐりゅ
ぐりゅ
ぐりゅ
にゅぽ
にゅぽ
にゅぽ
あ♡
は♡
少し
強くしますね
あ♡
あ♡♡
私の意志なんて
無視して
知らない快楽を
強制的に
流し込まれる
それなのに、どうして……
は♡ぁ
あ♡
ビクッ
ビクッ
あ♡
あ…
あぁ♡あ♡
ビクッ
ヤァッ
きゅん
きゅん


潮
吹いちゃったね
指だけなのに
で、
は……ッ
誰が
不感症だって？
は……ッ
は……ッ


あんたは
こうやって
身動き出来ない
状態にされて
視界を
塞がれて
強制的に
イかされて……
無理矢理
犯されることを
望んでたんですよ
俺は
一目見て
分かったよ
あんた、
Mなんだよ
……違う
あんたは
優しい普通の
セックスじゃ
満足
できないん
だって
認めなよ
そんな
はずがない

ずっと
真面目に
生きてきたの

子どものころから
習い事も勉強も
頑張って

『いい子』で
あれるよう
努力した



進路も順調だった

良い学校へ行って
大企業に就職して

周囲の期待を
裏切らない生き方を
してきたつもりだ



だから
浮気されたのも、
運が悪かっただけ

セックスは
苦手だけど

いつか こんな私でも
受け入れてくれる
誰かに出会えたら

お互いに
満たし合うような
『普通』のセックスが
出来るようになる


だから
私は……
夢……
じゃない……？
夢にしては
あまりに
生々しい感覚が
残っていて
それは私に
夢魔の存在を
信じさせるには
充分なものだった


……っ
キュン…
まだ夢の感覚を
引きずっている
理性では
否定しているのに
私の身体は
昨夜の快楽を
忘れられずに


またあの夢を
望んでいた
んぐっ
ぬちゃ
ぬちゃ
ぬちゃ
ぜクッ
ぜクッ
ぜクッ
今日は一日中
いやらしいことを
考えてたでしょう？
ぬちっ
あっ
ぬちっ
ぬちっ
あ
あ
にちゃっ
にちゃっ
にちゃっ
あ
こうやって
拘束されて
ぐちゃぐちゃに
されたいって
期待
してた
でしょう？
びくっ
あ
びくっ
あ
あ
びくっ
あ


まだ認められない？
ドザッ
強情だなあ
は…
は…
じゃあ、
ここで分からせてあげますね
スリップ


――……え？
はぁ……ッ
っ……？
？？
はぁ……ッ
……？
はぁ……ッ
？……
ぞくぞくっ
ぞくぞく、
ミチ
ミチ
ミチ
ミチ
これ
ビリッ
挿れて入って……
はぁ……ッ
あっ
はぁ……ッ
あっ
ぞくぞく、
ぞくぞく、
ぞくぞく、
ちか、
ちか、
ちか、


あっ…
…っ
ガクッ
ガクッ
ガクッ
ガクッ
ガクッ
ビクッ
ビクビクッ
…くぅ…っ
いれただけで
イったの？
まだ
これからなのに
ズダダ
ズダダ
ズダダ
あ
あ
あああ
俺が
イくまでは
頑張って
くださいね


あっあっ
くちゅっ
くちゅっ
は…
も……
やめ……
やめないよ
ちゅぽっ♡
ちゅぽっ♡
ちゅぽっ♡
だって
あんたの身体は
嫌がってないから
俺のを
ぎゅうぎゅう
締め付けて
ぎゅうう
ドチュッ♡
ドチュッ♡
ドチュッ♡
いやらしく
誘ってるのが
分からない？
ケモノみたいに
後ろから突かれて
あんたの身体は
悦んでるんだよ
ズプッ
ズプッ
ズプッ
あ♡あ
あ♡


今までの恋人は
優しすぎたんですね
あ♡
あ
ビクッ
ビクッ
ぬち…
ぬち…
あ…
ぬち…
あんたが
望んでいたのは
こんな風に
被虐的で
一方的な
支配だったのに
は…
は…
は…
くりっ
くりっ
違う
ぬぽっ♡
ぬぽっ♡
ぬぽっ♡
あ♡
あ♡
う♡
ガクッ
ガクッ
……違う？
私は
あ♡
う♡


私…は……
ドクン
ドクン
ドクンッ
――え……？
ビュー
ビュー
ビュー
中、に
夢の中（ここ）では
孕まないから
ゾク…
ゾク…
ゾク…
ゾク…
……っ
あ…
あ…
安心して


ドプッ
ドプッ
熱いものが
私の中を満たす
私今
この人に好き勝手されてる
身体の内側も侵されて
意地も尊厳も踏みにじられて
めちゃくちゃにされてる
ゾク…
ゾク…
ゾク…
ゾク…
ドプッ
ドプッ
トクン…
トクン…
トクン…
トクン…
トクン…
トクン…
まるでこの人の所有物になったみたいに……
は……ッ
は……ッ
は……ッ


ぬぽっ
ヒクッ♡
ヒクッ♡
ヒクッ♡
あんたも
あんたの恋人も
お互い
不幸でしたね
でも、
安心して
今夜からは
俺が
満たして
あげるから
待ってて
くださいね
それから夢魔は
毎夜
私の夢に現れて
私で
『食事』を
するように
なった


時には卑猥な玩具で責められた
あ♡あ♡
びくっ
びくっ
びくっ
ヴーッ
ヴーッヴーッ
ヴーッヴーッ
ヴーッ
あ♡あ♡
あ…♡
ヴーッ
これが体外式ポルチオ開発ですよ
この前ここを押されて気持ちよさそうにしてたから
もっとよくなれるようにしましょうね
あ♡う♡
ヴーッ
ゼクッ
ゼクッ
ヴーッヴーッ
う♡
あ♡っ
外側からの刺激で
子宮が揺れて……っ
ビクッ♡
ビクッ♡
あ♡
ウルウルウルウル
あ♡あ♡あ♡


イく……っ
ビクビクッ
ビクッ
ヴーッ
ヴーッ
上手に腹イキできましたね
これ
ヴーッヴーッ
クリトリスに当てたらどうなると思います？
は……ッ
だめ
ヴーッ
は……ッ
だめ
ビクッビクッビクッビクッ
ビクッ
ヴーッヴーッ
ヴーッ

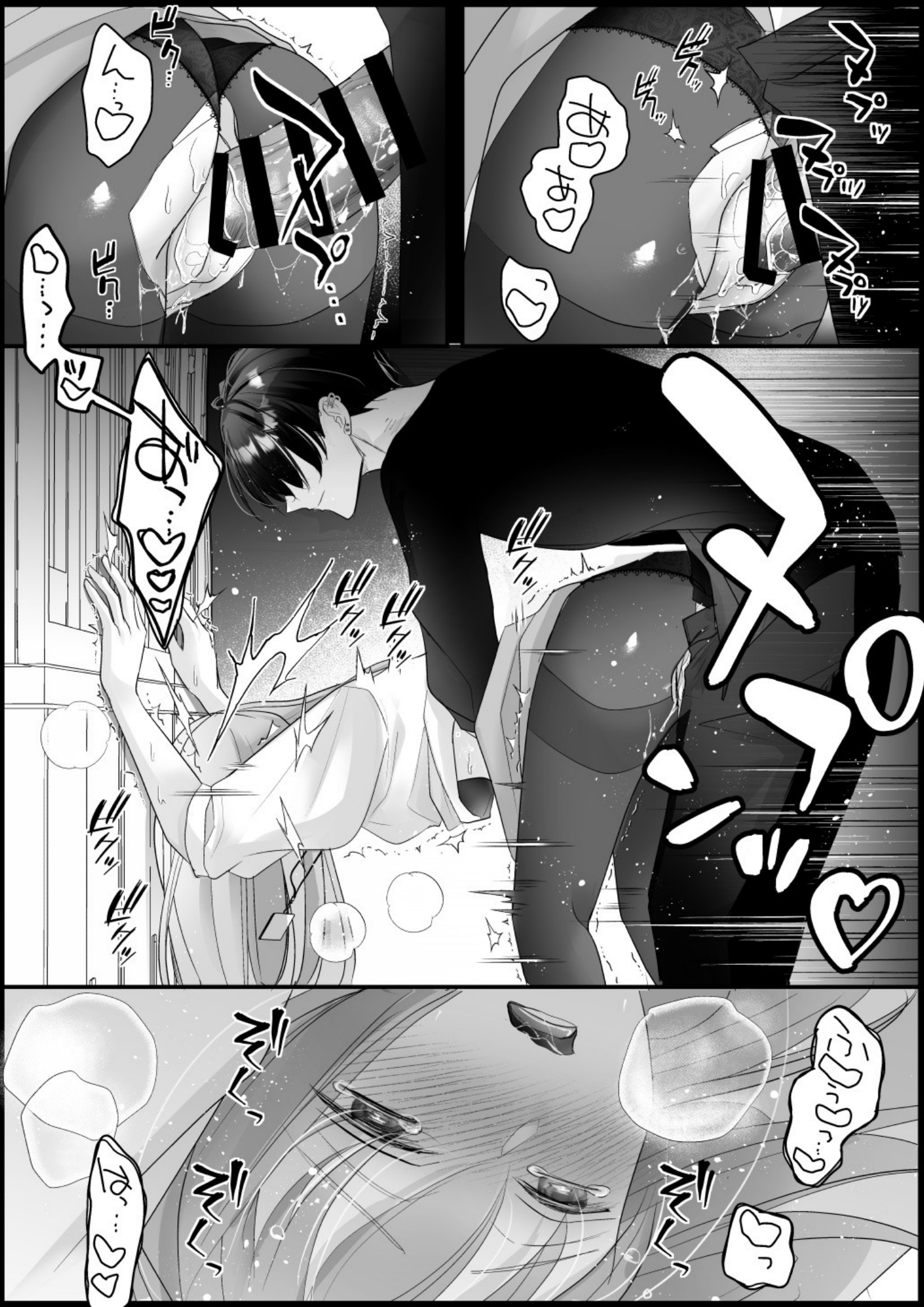

あぁぁあ♡
中も一緒に
してあげますね
ヴーッヴーッ
ヴーッヴーッ
ガクッ
ガクッ
ヴーッ
ガクッ
ガクッ
あ♡
う♡
内側と外側から
弱いところを
刺激されて
ヴーッヴーッ
あっ♡
う♡
う〜♡
ヴーッ
メチャッ
メチャッ
チャッ
中、
誘うみたいに
うねってる
そんなに
俺が
欲しいですか？
きゅっ♡
う♡
でも
ダメです
今夜は
玩具で楽しく
遊びましょうね
チガッ
チガッ
あっ♡
う♡
う♡
う♡
あ
変になる……っ


代わりに
これをいれて
あげますね
は……ッ
は……ッ
これ、
どう使うか
知らない
でしょう？
こっち側が
根元まで
ずっぽり
入った後は
ここで
クリトリスを
吸うんですよ
だめ
気持ち
よさそう
でしょう？
ずぞぞぞぞ……
は……ッ
ドクンッ
そんなのいれたら、私
ドクンッ
ドクンッ
は……ッ
……っ
ぐぐ
ドクンッ
壊れ……っ
ドクンッ
あ♡っ
ぐ……
♡


ビクッビクッ
ビクッ
ビクッ


このまま
夜明けまで
楽しみましょうね
その言葉通り
私の身体は
卑猥な玩具で
いたぶられ
朝が来るまで
何度も何度も
絶頂を強制された


時には
夢の中の職場で
犯された
資料室
あ♡あ♡
くぽっ
くぽっ
くぽっ
あ♡う
あ♡
グリッ
グリッ
グリッ
ビク…
ビク…
キュッ
キュッ
あ♡
あ♡
は♡あ
こ♡
真面目な
顔して
働きながら
こういうことを
されたいって
思って
たんでしょう?
あ♡
にゃち♡
にゃち♡
にゃち♡
悪い子だね
は……ッ
……♡


ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ビク…
ビク…
ビク…


いつも
働いている職場で
セックスしている
夢だと
分かっていても
恥ずかしくて
逃げ出したい
そんな感情が
私の心と反して
快楽に
変わっていく
否定したいのに
身体は
言うことを
聞かなくて
ちぐはぐで


職場で
中出しされて
イっちゃったね？
私の心は
背徳感で満たされ
悦んでいた


ほら、
ちゃんと見て
時には
恥ずかしい格好を
強いられたまま
鏡の前に立たされ
あざ笑う
かのように
辱められた
こんな
いやらしい恰好
させられて
ヒクッ♡
ヒクッ♡
トロ…
興奮
してるんだ？


いくつも夢を
重ねていくにつれて
ちゅぽっ
ちゅぽっ
ちゅぽっ
『恥ずかしい』
という感情が
ちゅぽっ
ちゅぽっ
ちゅぽっ
快感と
同じものへと
変質していくのが
分かった
パールが
敏感な箇所に
擦れて
しゃっ
……っ
ふっ
ふっ
ふっ
ちゅくっ
ちゅくっ
ちゅくっ
刺激が
もどかしい……
ちゅぷっ
ちゅぷっ
ちゅぷっ


……っ！
ビクンッ
パリッ
あ…
どうしたの？
続けてください
あぁ…
ビクッ
ビクッ
ビクッ
あ……っ
ぐにっ
ぐにっ
ぐにっ
ぐにっ
あ
さっきまでの焦れるような快感とは違う
もっと直接的な刺激が
身体中に響く
にゅちっ
にゅちっ
にゅちっ
クチュッ
クチュッ
クチュッ
クチュッ

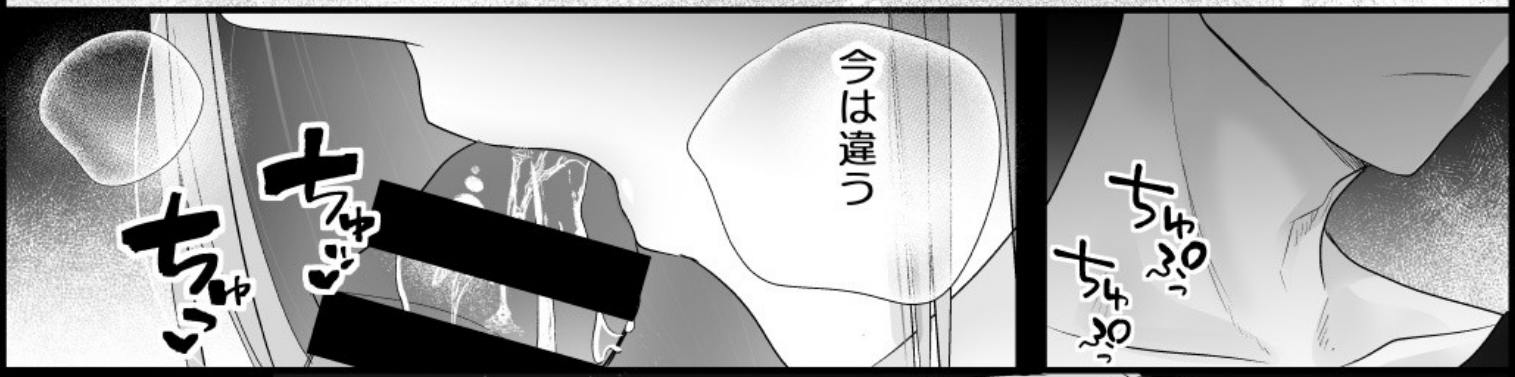

くぽ
くぽ
くぽ
ビリッ
ビリッ
ビリッ
ふーっ…
ふーっ…
ふーっ…
足で
イっちゃったん
ですか？
びくっ
びくっ
びくっ
びくっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ


ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅぷっ
ちゅぷっ
気持ち…いい……
ちゅぷっ
ちゅぷっ
ちゅぷっ
ちゅぷっ
いわ…
イったばかりのクリトリスも
口のなか、も
ふっ
ふっ
ふっ

今までも恋人に口でしたことはあった

でもそれは相手に喜んで欲しかったからしたことで

自分のためじゃない






いい子
っ！
飲んで


それは被虐的で、甘美な悦楽だった
ビクン
キュンッ
キュンッ
熱い液体が
喉を通り 私の体内へと
落ちていく

夢魔、という

資料室

人の理を
外れた存在は

じわじわと
現実にまで
侵食していった

ええと、
5年前の
会計資料は…

……私、

夢の中で

ここで
犯されたんだ

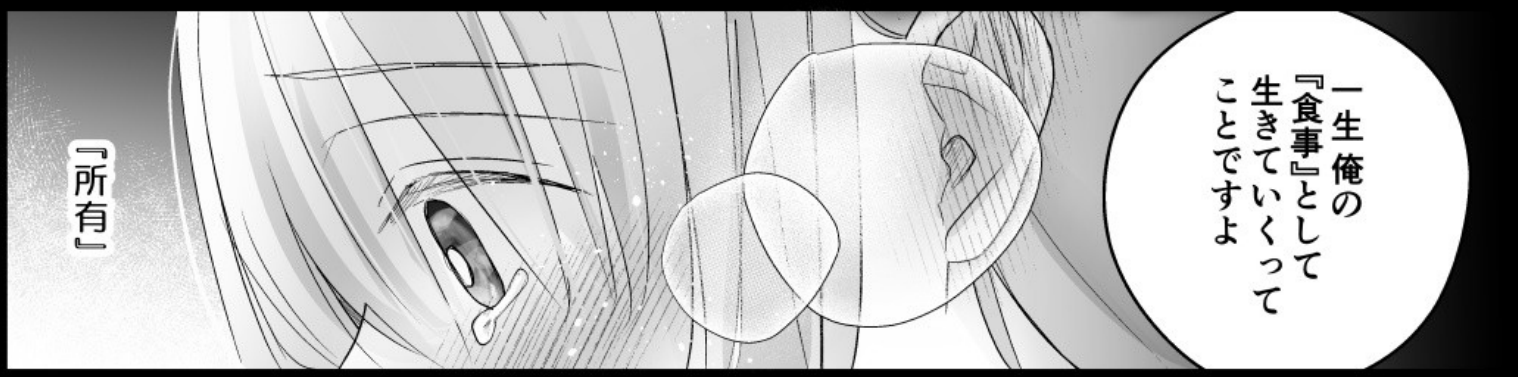
ヤ、


っ
あ、
――――っ……
ビクッビクッビクッ
うそ
は……ッ
は……ッ
ビクッ♡
ビクッ♡
思い出しただけなのに
きゅん
きゅん
ビクッ♡
ビクッ♡
夢の中だけで満足できない身体は
現実でも火照ったまま
ビクッ♡
次の夜を待ち望んだ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
あ♡
あ♡
あ♡
あ♡
あ♡

あぁあ♡
こ♡
グチュッ
グチュッ
アダッ♡
アダッ♡
アダッ♡
こ♡あ～…っ♡
こんなに
気持ちいいのに
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ


…あ、あ…
は…
ゾワ…ッ
は…
は…
ゾワ…ッ
はぁっ
あんたは
夢だけじゃ
足りなくて
現実の自分を
満たして
欲しいと思ってる
くちゅ…っ♡
っ……♡♡
ここに
注いで
欲しいん
でしょう？
キュッ♡
キュッ♡
キュッ♡
は…
は…
ねえ、俺と
契約しませんか
――契、約……？
『食事』を
するのは
夢の中でだけ
これが
俺たち夢魔が
人間社会で
生きる上での
ルールです
でも
一つだけ
例外がある


それが
夢魔と
人間との間で
結ばれる
『所有』の契約
つまり、


一生俺の
『食事』として
生きていくって
ことですよ
『所有』


夢の外……
——現実の
あんたの胎(はら)に
俺の
精液を注ぐことで
契約が成立します
この人に
そうしたら俺は
あんたの
持ち主として
ずっと支配される……？
これから先
ずっと
あんたの面倒を
見てあげられる

衣食住
全て支配して

俺なしじゃ
ダメなように
してあげます

他人から
支配されたがってるって

あんたと
初めて
会った時

一目見て
分かったんです

ビクッ
ビクッ
くちゅっ…♡
くちゅっ…♡
くちゅっ…♡
あ…♡
あ♡
っ♡

セックスが
嫌いだなんて
真面目で
潔癖なことを
言うくせに

やぁ♡
あ♡

ビクッ
ビクッ
ビクッ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
あ♡

誰かに
辱められて
いたぶられて

ぐちゃぐちゃに
されることを
望んでいるんだって

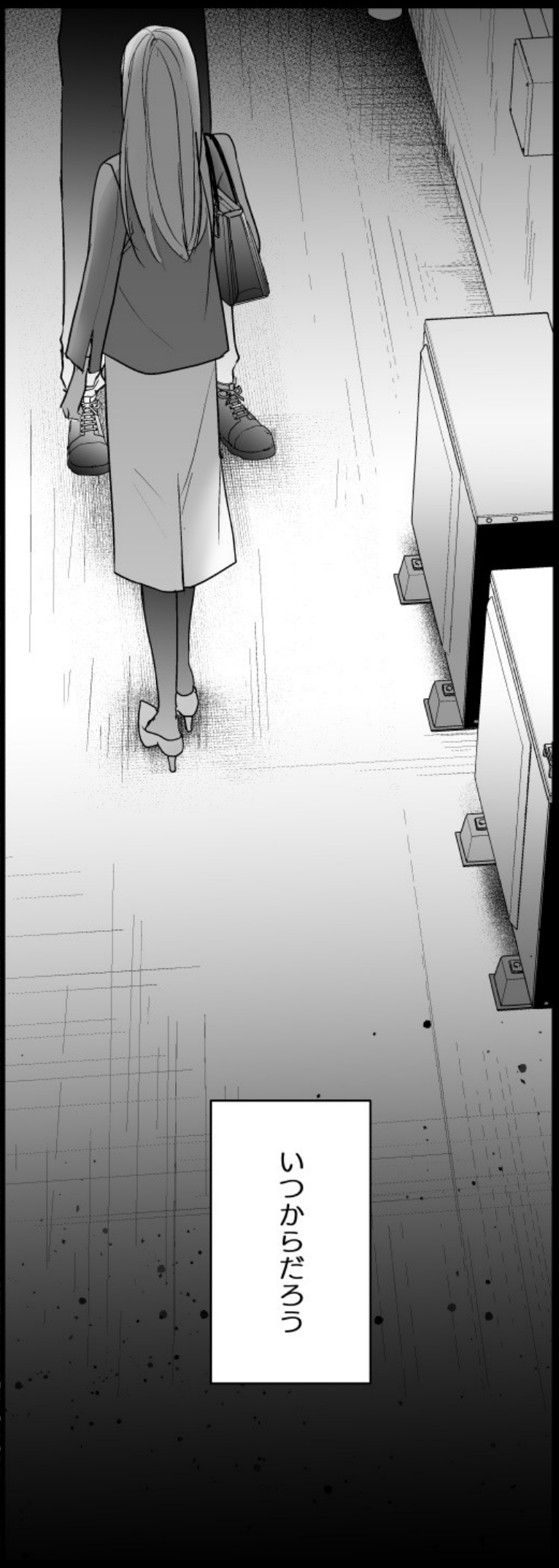
っ♡
あ♡


違う、
なんて
もう
言えません
よね？
あっあっ
ビクッ
ビクッ
クリッ
クリッ
あっ
くちゅくちゅくちゅっ
あっあっあっ
あっ
グニュ
グニュ
グニュ
こんなに
欲しがりな身体を
持て余して
辛いでしょう？
ビクッ
ビクッ
う…～～っ
ねえ、
俺なら
グチュッ
グチュッ
チュプ
チュプ
あんたを理解して
望むものを
与えてあげますよ


あひぁ♡
ビクッ
ビクッ
夜だけじゃない、朝も昼も一日中
何も考えられなくなるくらい気持ちよくして
にちっ
にちっ
あひぁ♡
ヒクッ♡
ヒクッ♡
トロ…
あんたを喰い尽くしてあげる
悪い話じゃないでしょう？
あひぁ♡
ガク
ガクガク
ガク
ぐちっ
ぐちっ
ぐちっ
あ、あ
私…は……
ゾク…♡
ゾク…♡
ゾク…♡
あ…


明日、
初めて会った時刻に
初めて会った場所で
あんたを
待ってます
そんな契約を
結んでは駄目だと
理性では
分かってるのに
本能は
それを望んでいる
熱に浮かされて


どうしようもない
期待から
逃げられない
夢の外で
会うのは
久しぶりですね



動きを
拘束されなくても

身体は
彼の言うことに
逆らえなくなった

視界を
塞がれなくても

感覚は敏感に、
快楽を
得るようになった

ひどいことを
されるたび

身体も心も
喜悦で
満たされた

夢魔の
餌食となった
私はもう戻れない

それならいっそ


私の全部を
喰い尽くしてほしい
この胸の後悔も
戸惑いも残さず
消し去ってほしい
キスだけで
濡れてる
ん…


はぁ…
あんたを
こんな風にした
もう
不感症だなんて
言えないですね？
はぁ…
責任を
とらなくちゃね


ぐぐぐ…っ
夢じゃない……
今、ここ現実で
はッ…
はッ…
ぐぐぐ…っ
ぷぷぷ…
ビクッ
こ
はっ
私の中に はいってくる
一番奥の
ハァ
ハァ
ハァ
…
あっ
あっ
気持ちいいところ……
クリリっ
あっ
あっ

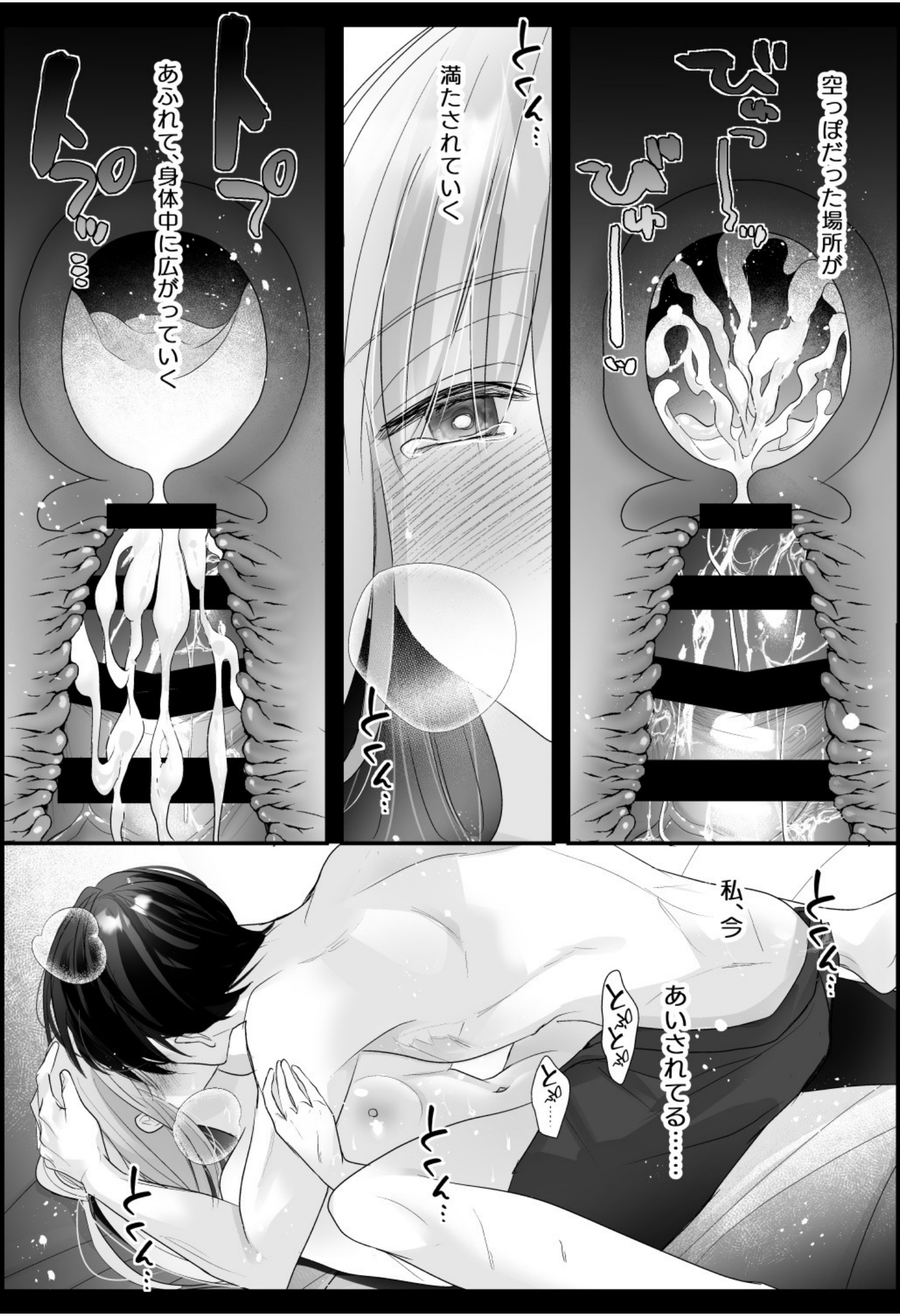

ビクッ
イっちゃったの？
ビクン
まだいれただけなのに
夢の中(あっち)ですっかりイキ癖がついちゃいましたね
は――…
は――…
は――…
は――…
びくびく
びくびく
きゃうっ
きゃうっ


ここも
弄って
あげますね
ちゅぽっ♡
ちゅぽっ♡
ちゅぽっ♡
だめ
あーあ
みっともない
顔ですね？
だめ……っ
はーっ
はーっ


見ないで……っ
……っ
ああ、
隠さないで
いいんですよ
あんたの
みっともない所を
俺に全部
晒してください
は…
は…
自分を騙しながら
淫らな欲を
隠し続けるのは
苦しかったでしょう？
これからは
俺が全部
受け入れて、
満たして
丸ごと
支配(あい)して
あげるから


満たし…て……
はぁ…
あいして……？
はぁ…
だから、ね
安心して
俺に支配されて


あ


空っぽだった場所が
びゅっ
びゅー
とくん…
満たされていく
とくん…
あふれて、身体中に広がっていく
とろ
とろ…
とくん…
私、今
あいされてる……
とくん…
とくん…
とくん…




これが
俺の所有物である
証です
きれいな刻印が
浮かび
上がりましたね
私のカラダもココロも
もう 私のものじゃない
契約成立です


私の全てはこの人が腹を満たすためのもの――…
これからもよろしくお願いしますね

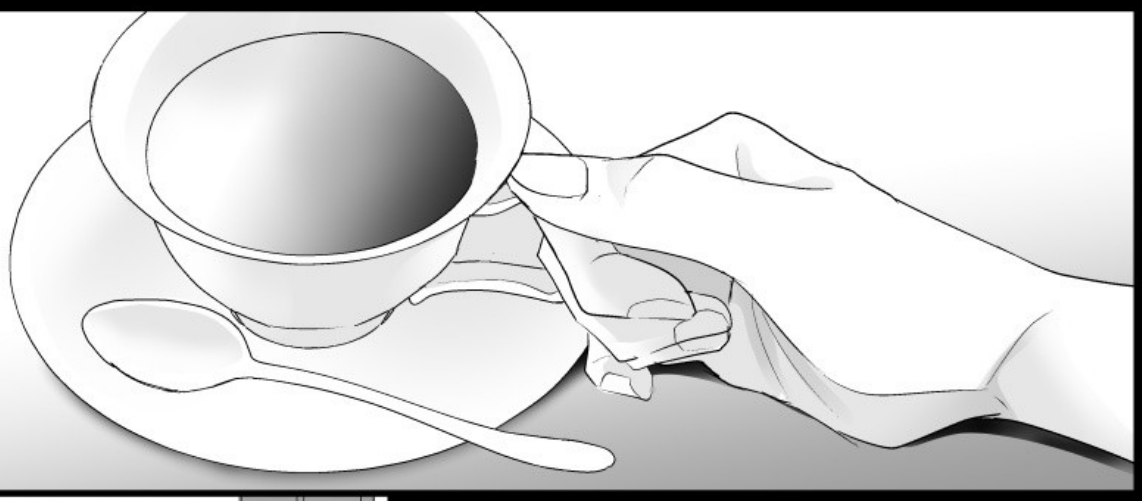

しかし、まあ
今まで相手をとっかえひっかえ
好き放題食い散らかしてたお前が『契約』するなんてね
食事相手がたった一人になるなんて、飽き性のお前が耐えられるの？
もちろん
……そんなに美味いの？その相手


そうなるように
仕込んだんだよ


納得いくまで
時間をかけてね
きっかけは
ただの
好奇心だった


淫らな匂いを
漂わせているのに
それに釣り合わない
アンバランスな
身体と心
どんな味なのか
興味があっただけ

でも、結局
はまっていったのは
俺のほうだった



本能を暴かれていく
彼女の不安も戸惑いも
手に取るように分かった

必死に
抵抗する様子が
いじらしくて

だから より深く
堕としてみたくなった

次は
どんな反応を
見せてくれるのだろうと

夜が来るのを
待ち遠しく思った

会ってみたいな～

会わせないよ

俺のだから


気付けば俺は
彼女の全てを暴いて晒して
俺のものにしたくなってしまった
これじゃあ
どっちが
喰われたのか
分からないな

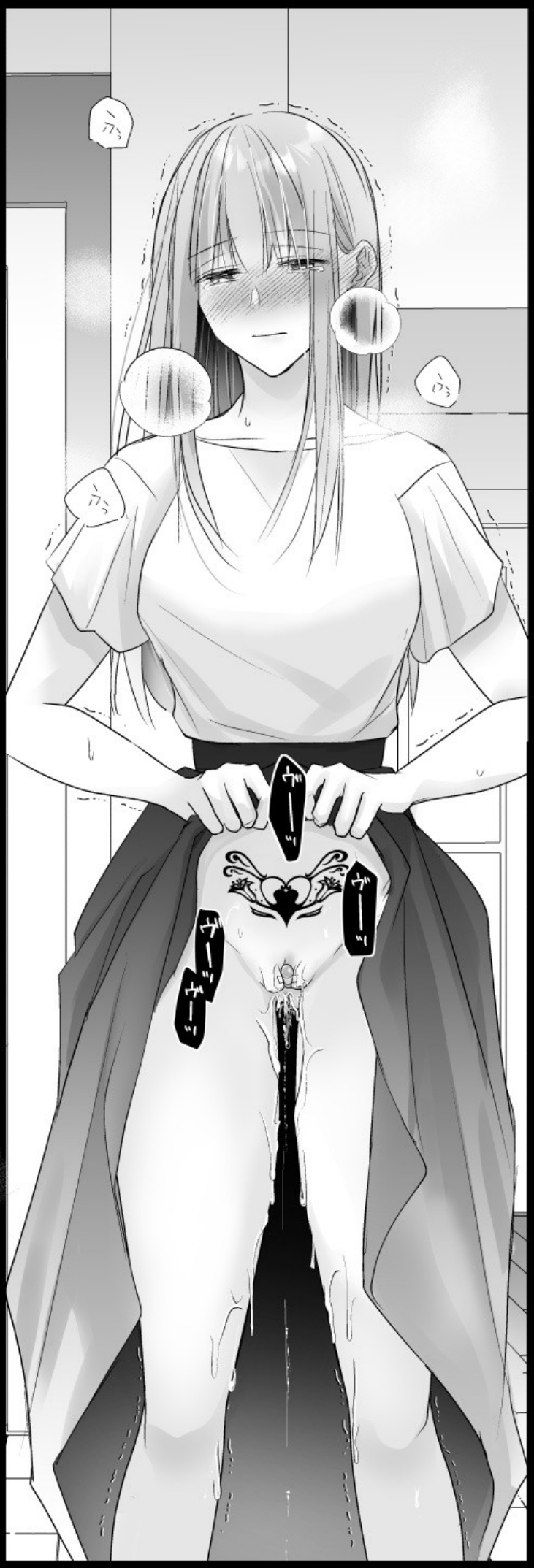

カリカチャ
ただいま


おかえり…
なさい……
ちゃんと
いい子に
してました？
ぽた
ぽた
はい……
は…
は…
は…
は…ッ
……っ
は…ッ


ヴーッ
ビクッ♥
ビクッ♥
ビクッ♥
ヴー"


よく出来ました


じゃあ、
食事にしようか

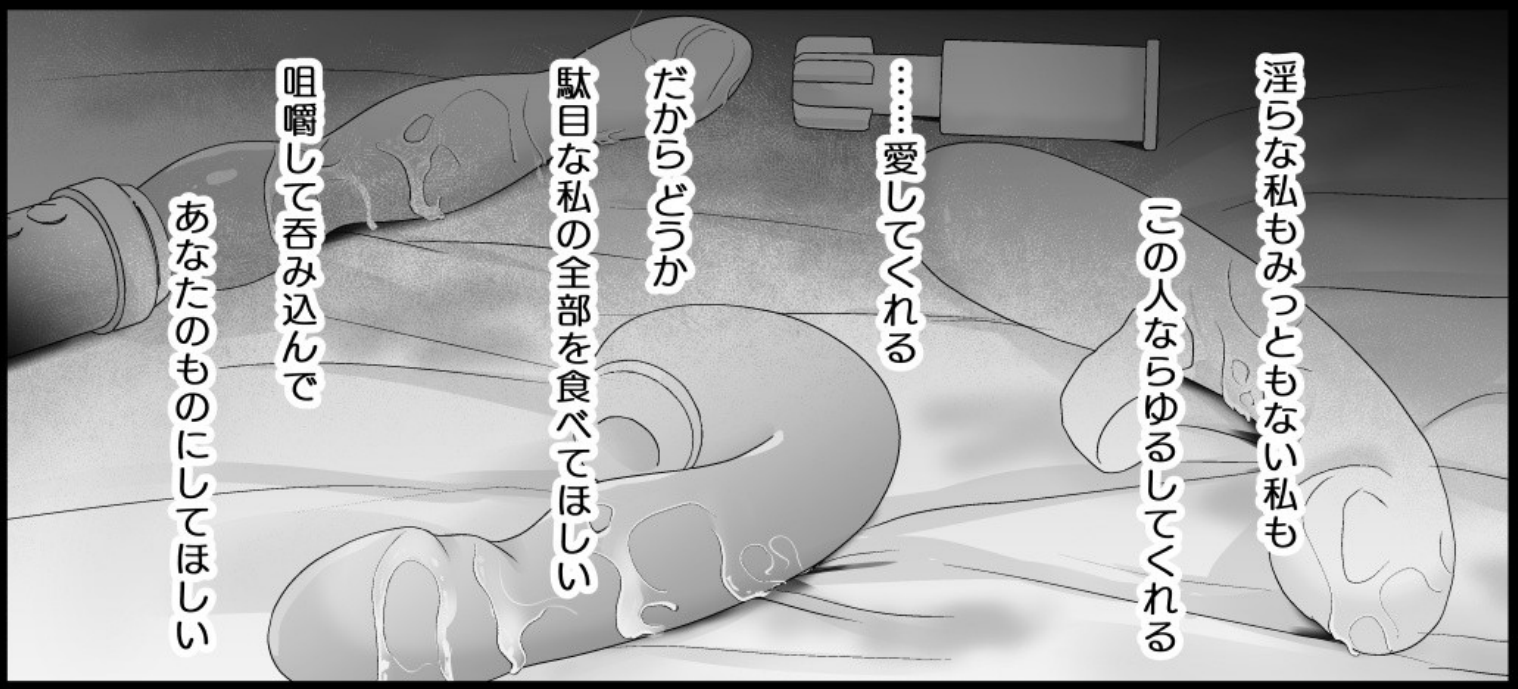

ハァ
ハァ
ハァ
ヴー"
ヴー"
ヴー"
ヴー"


ゴクン…
……はい
ゴクン…


ゴクン…

ゴクン…

いただきます


淫らな私もみっともない私も
この人ならゆるしてくれる
……愛してくれる
だからどうか
駄目な私の全部を食べてほしい
咀嚼して呑み込んで
あなたのものにしてほしい


骨まで残さず 喰い尽くして――……

無自覚Mが夢魔に開発調教されて
カラダもココロも喰い尽くされるまで

配信日…2024.4.30/制作…Crs(しら洲)

設定など

夢魔について

淫魔の一種。
淫魔は人間との性行為を通じて『食事』（＝精気を吸収）するが、
その際の快楽が強すぎて淫魔との性行為に依存する人間が少なからずいた。
夢魔は『食事』による人間への影響を減らすために
夢の中で食事を行うようになった淫魔たちのこと。

夢魔はチャーム（魅了）の能力を持っている。
この能力で対象の警戒心や猜疑心を和らげ、好印象を与えることができる。
そのため他人からの信用を得やすく、社会的に成功したり地位が高いものが多い。
主人公と夢魔の出会のシーンで主人公が自身の境遇について話してしまったのは、
夢魔の魅了の能力により警戒心が薄れていたため。

契約について

人間社会で円滑に暮らすために、夢魔たちには様々なルールがある。
人間側の夢魔への依存を避けることはその1つであるが
そのルールを破り、たった1人の人間を快楽で堕とし
自分のものにするための儀式が『契約』である。
『契約』した人間の下腹部には
夢魔への隷属の証としての紋様が浮かび上がる。



主人公

何でもそつなくこなす優等生だが
本人が潜在的かつ無自覚なMであったため
普通の性行為で感じることができず、恋愛だけが上手くいかなかった。
真面目な性格が災いし、性行為中に感じている演技をするのも
「相手に嘘をついている」という罪悪感からぎこちなくなり、
恋人を傷つけることが多かった。



夢魔

食事にこだわりはないタイプだが飽き性かつ大食いであるため
友人曰く「手あたり次第食い散らかす」タイプになっていた。
主人公との出会いをきっかけに食への執着の感情を知る。
夢魔の領域である夢の中では裸眼だが
普段は眼鏡をしている。コンタクトレンズは苦手。



夢魔の友人（彼自身も夢魔）。
偏食。気が強い相手を堕とすのが好き。



Crs/しら洲
活動報告+連絡用ブログ
https://crs.fanbox.cc/


無自覚Mが夢魔に
開発調教されて
カラダもココロも
喰い尽くされるまで